

川崎市議会議員(麻生区選出、無所属)

月本たくや

レポート【第52号】

月本たくやレポート編集部

〒215-0024 川崎市麻生区白鳥 2-3-2 K コーポ白鳥 103
TEL: 044-986-6010 FAX: 044-330-1563 Email: mail@tsukimoto.info



市議会が止めずに誰が止めるのか！

～検証なき川崎じもと応援券の第2弾の莫大な事務費を見直すべき！～

✓市議会が予算に待ったをかける組替え動議の提案

令和3年第1回川崎市議会定例会、川崎じもと応援券第2弾の補正予算が提案されました。第1弾の効果検証は行われず、第1弾に続き、第2弾も紙の1,000円券だけで、第1弾と第2弾の内容を比較すると右図のようになり、第1弾・第2弾合わせ事務費が約9.7億円にのぼります。その上、商店会等から少額券やキャッシュレス導入の要望があったにも関わらず、第1弾と同じ手法を取るといことです。また、市が審議前に第2弾を発表したため、プレミアム付与分やプレミアム率を変更するのは現実的に厳しいため、どう考えてもおかしい「事務費5.2億円」を縮減し、縮減効果をコロナ対策に充てる動議を提案することにしました。

まず、組替え元となる事務費は、広島県のプレミアム付き商品券や千葉県木更津市のアクアポイント制度などをもとに、電子化により事務費は約1.7億円まで縮減が可能になります。そして、組替え先は差額の3.5億円を今後必要になるコロナ対策として、下り搬送支援に1億500万円、避難所の感染症対策に8,100万円、残りをこの一年でもあった緊急対応に備えた事業費に充てるものにしました。

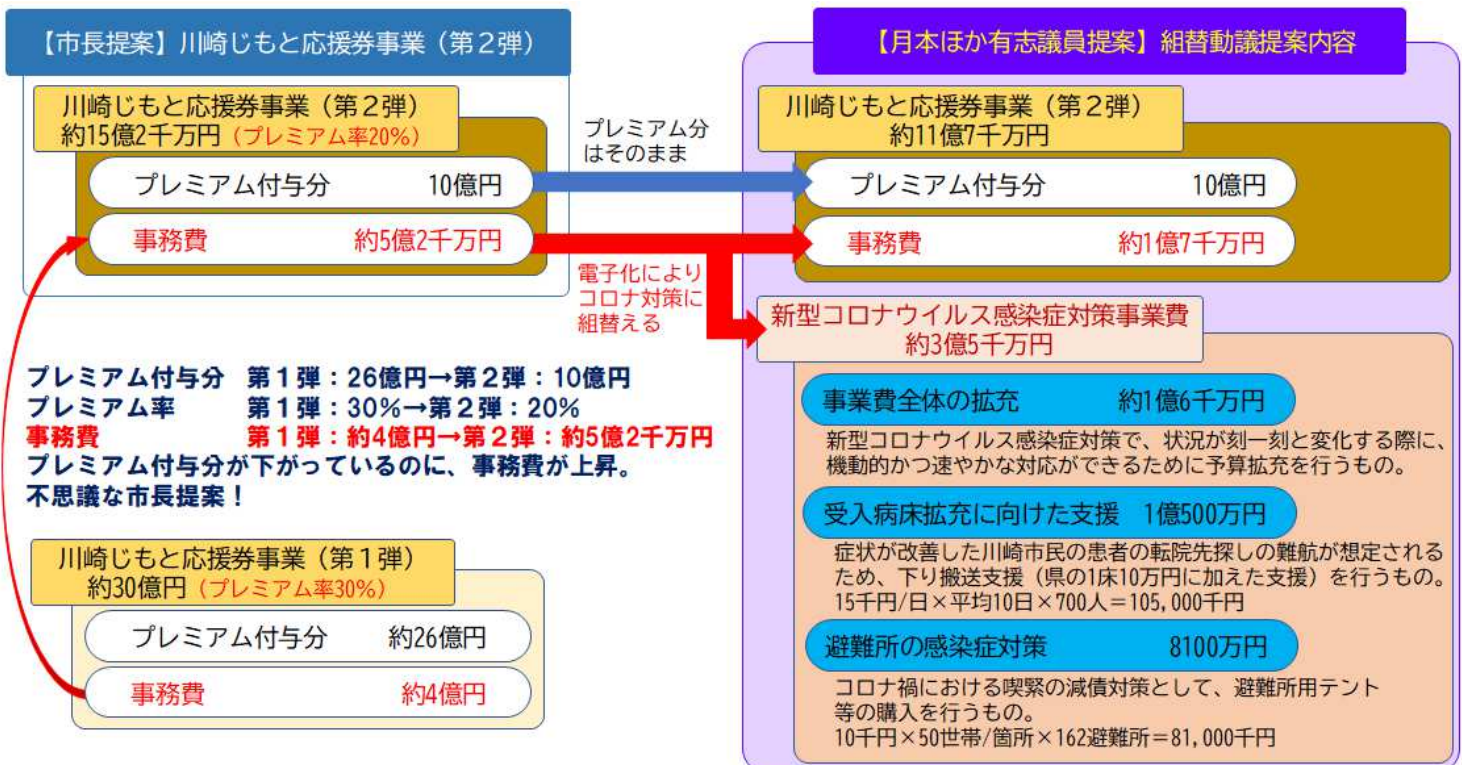
組替え動議の提案内容の概要は以下のとおりです。



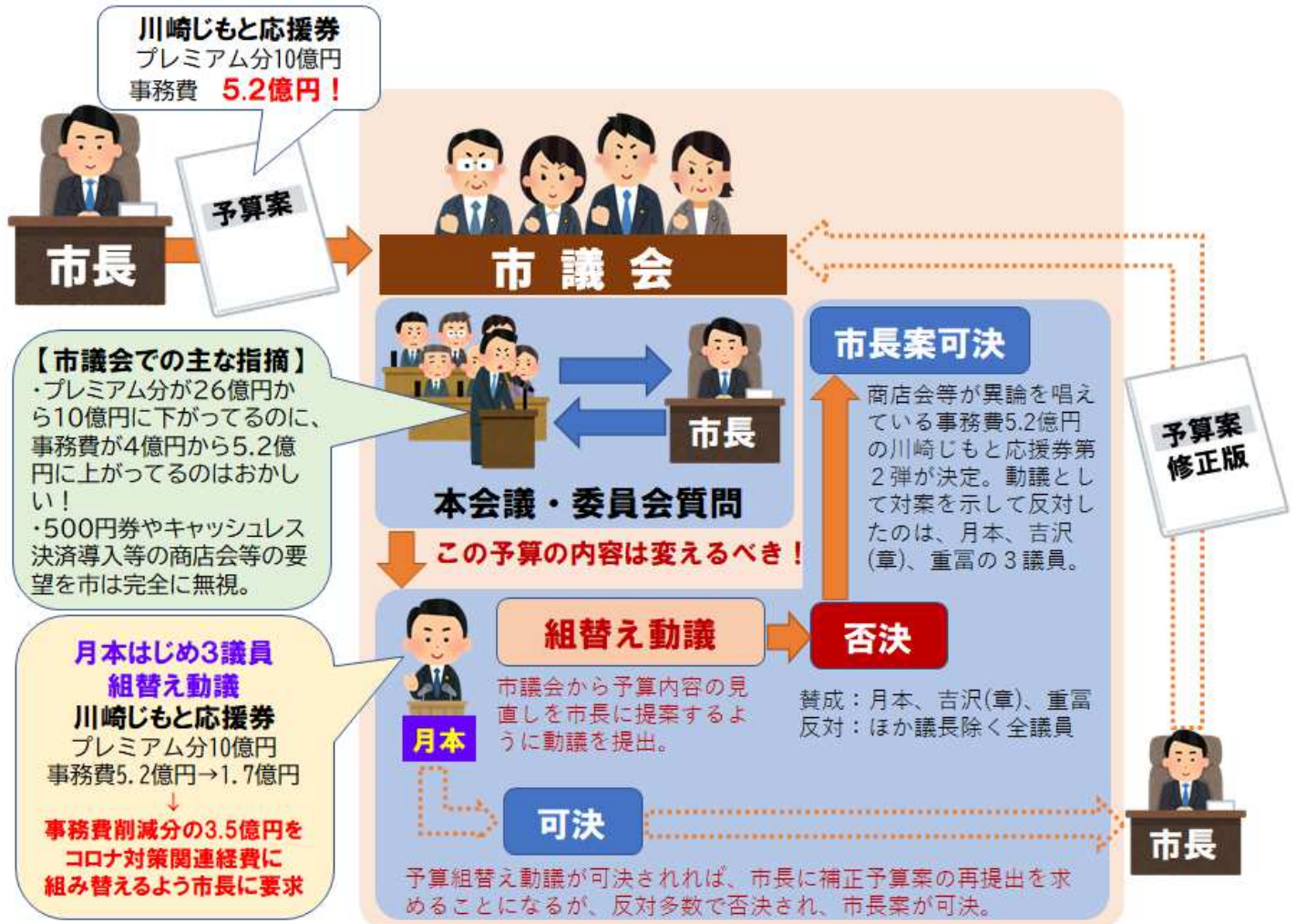
プレミアム分が下がったのに、事務費が上がってる！

	第1弾	第2弾
プレミアム分	26億円	↓10億円
プレミアム率	30%	↓20%
事務費	約3.9億円	↑約5.2億円

※第1弾延長で事務費+0.6億円



市議会における川崎じもと応援券第 2 弾の審議経過



市の予算提案権は市長にしかありません。

市議会は、提案された予算の内容に納得できない場合は、反対しかないのかと言えば、修正案を提出することが出来ますが、これはあくまで示されたものを減額する程度の対応しかできません。では、市議会は何も提案できないのかということになります。そこで、「**予算組替え動議**」という制度があり、市議会から提案し、**動議が可決されたら、市長はその内容に従って予算を作成し直し、再提出することになります。**つまり、事実上、予算の修正を求めることが出来る制度です。

市議会での質疑で厳しい意見が飛び交い、当然多くの議員の賛同が得られると思っていたら、私、吉沢章子議員、重富達也議員のたった3人で提案。組替え先で異なる意見が出れば修正に応じる予定でしたが、修正提案もなく、私たちを始め原案に反対した議員を除き、5.2億円の事務費を認めてしまったわけです。

市議会は、市長の市政運営のアクセルとブレーキをかける役割です。こういう時こそ、ブレーキを掛けなければいけません。止めない市議会は機能不全。これからも改革をあきらめず、挑戦し続けます。

月本たくやプロフィール

昭和 53 年 大阪府豊中市生まれ。神奈川大学法学部法律学科卒業後、建築設備メーカーに就職。

川崎市長政務秘書、衆議院議員公設秘書（麻生区・国会担当）等を経て、平成 23 年より川崎市議会議員。

交渉会派団長 2 回、条例改正案・修正案・予算組替え動議の提案者代表、川崎市都市計画審議会委員、川崎市農業委員等歴任。

現在 川崎市議会議員（麻生区選出、無所属、当選 3 回） 健康福祉委員会委員

神奈川県クッパ協会代表理事 NPO 法人防犯ネットワーク理事・麻生区支部長

神奈川大学川崎市宮陵会監事、三田学園同窓会東京支部幹事

川崎市麻生区男子ソフトボール連盟副会長 川崎白百合ライオンズクラブ 2017-2018 年度会長

五力田町内会地区長 麻生区白鳥在住 家族：妻（会社員） 趣味：KUBB（スウェーデン発祥のスポーツ）

月本たくや事務所

麻生区白鳥 2-3-2 Kコーポ白鳥 103

TEL 044(986)6010 FAX 044(330)1563

月本たくや

検索

